

主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

8月3日(火曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

豪準備銀行・RBA声明に注目

2日(月)の主な推移



- ① 野田財務相が「(為替について)過度の変動は経済に悪影響を与えるため好ましくない」、菅首相が「デフレからの脱却が経済成長・財政再建のスタート」、白川日銀総裁も「日銀はデフレ脱却に向けて最大限の努力をしたい」と本邦要人発言が相次いだ事で、円高デフレ克服に向けた取り組み強化の思惑から円売りが優勢となると、ユーロ/円や豪ドル/円は上昇した。
- ② 仏銀大手BNPパリバや英系大手銀行HSBCの決算が予想を上回ったことなどを背景に、欧州株式市場が堅調に推移し、時間外のNYダウ先物も100ドル以上の上昇となった事で、リスクを積極的に取る動きが強まり、ユーロ/円や豪ドル/円は上昇した。
- ③ NYダウ平均株価が100ドル超の上昇で始まると、リスクを積極的に取る動きからユーロ買いが優勢となった。その後、米7月ISM製造業景況指数が55.5と予想を上回るとNYダウが上げ幅を広げ、ユーロ買いが加速、ユーロ/円は114.17円の高値を付け、ユーロ/ドルは5月4日以来の高値となる1.3195ドルを記録した。一方、豪ドル/円は翌日に豪準備銀行の政策金利発表を控えている事から79円台では上値を追う動きは限られた。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3020-1.3250ドル
ユーロ/円 : 112.80-114.80円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.50-79.80円

米連邦準備制度理事会(FRB)のバーナンキ議長は昨日の講演で「持続的な成長、特に雇用における成長を目にし始めるまでは、金融政策が経済に必要な支援を提供し続けることを確実にする必要があります」と述べ、言外に低金利政策の長期間維持に言及した格好だ。地合いはドル売りムードに傾いており、ユーロ/ドルは大きな下落はなさそうだが、このところ堅調に推移している主要国の株価が一旦調整に向かうようだと、ユーロ/ドルやユーロ/円には利益確定の売りが出やすくなる。(神田)

本日は豪準備銀行(RBA)キャシュターゲットが発表される。政策金利の据え置きはほぼ確実視されており、焦点は声明文の内容となる。前回の声明で、RBAのインフレーターゲットの上限である3%を「短期的に上回る見込み」としていたインフレ率について、先月28日に発表された第2四半期消費者物価指数では、基調インフレ率は2.7%となった。物価面からは早期追加利上げの必要性は薄れていると見られ、声明文もややハト派(慎重派)的なものになると予想される。(神田)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/3(火)	10:30	○	(豪) 6月小売売上高 [前月比]	+0.2%	+0.4%
	10:30		(豪) 6月住宅建設許可件数 [前月比]	-6.6%	+2.0%
	13:30	◎	(豪) RBA キャシュターゲット	4.50%	4.50%
	21:30		(米) 6月個人所得 [前月比]	+0.4%	+0.2%
	21:30		(米) 6月個人支出 [前月比]	+0.2%	+0.1%
	21:30		(米) 6月PCEコア・デフレーター [前年比]	+1.3%	+1.3%
	23:00		(米) 6月製造業受注指数 [前月比]	-1.4%	-0.5%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。